

# アストロテラス 夜間一般公開

2025年9月13日(土)

\*このリーフレットは科学館天文サポーターの協力により作成しています。

2025年9月中旬

20時頃の空(川崎)



## 2025年9月の星空

9月には夜8時ごろ、天頂にデネブ(はくちょう座)が輝き、やや西にベガ(こと座)、南西にはアルタイル(わし座)と、夏の大三角が空高く見えています。

東の空にはすでに秋の四辺形が昇ってきています。北天に目を移すと、カシオペヤ座のW字型が見つかります。南の空低いところには、秋のひとつ星と呼ばれるみなみのうお座の1等星フォーマルハウトを見つけることができるでしょう。今年は、南の空にもう一つ、土星(0.7等)がうお座にあって、一晩中見えています。

### これからの天体现象

#### ●注目現象

- 9月 17日 月(月齢 24.4)と木星が並んで昇ってくる  
月がポルックスの南側を通過
- 18日 月(月齢 24.6)がかに座を通過
- 20日 彼岸の入り(9月 26 日まで)  
夜明け前の東の空低く、金星と細い月(月齢 27.5)が並ぶ
- 22日 土星が衝(地球から見て太陽とちょうど反対側になる瞬間)となり観望の好機
- 23日 秋分、太陽黄経 180 度になる瞬間をいう
- 29日 月面X(月の欠け際にXの文字が浮かび上がって見える現象)の観測好機(17:30~18:30ごろ)

#### ●月の満ち欠け

- |    |     |    |
|----|-----|----|
| 9月 | 8日  | 満月 |
|    | 14日 | 下弦 |
|    | 22日 | 新月 |
|    | 30日 | 上弦 |

# 2025年9月の観望天体（予定）

## トピック

### 【ベガ】

こと座の1等星で、地球からは25光年の距離にあります。夏の大三角の3つの星（ベガ・デネブ・アルタイル）の中では最も明るく、今頃の午後7時前に天頂近くを通るので、簡単に見つけることができます。

太陽の3倍近い大きさなのにわずか12.5時間で自転しているため、強い遠心力の影響で赤道方向が極方向より2割程度大きくなっています。

### 【ガーネットスター】

「ケフェウス座μ（ミュー）星」の別名です。その名の通り、独特の色が特徴です。また、明るさが変わる変光星であり、約2年周期で3等級から5等級の間で変わります。今日9月13日は約4等級で輝いています。

1783年、天文学者のウィリアム・ハーシェルがこの星を観察してガーネット（和名・ざくろ石）にたとえました。今夜あなたはどんな名前を付けますか？



次回は

10月4日（土）受付時間：18:30～18:50

月、アルビレオ（二重星）を観察予定です。

先着順で整理券を配布し、番号の順に望遠鏡で観察していただきます。

※雨天・曇天等観察が難しいと予想される場合は中止。

（開催の有無は、当日15時に当館HP・X・Facebookでお知らせします。）

最新の科学館の情報は  
ホームページ・SNSをご確認ください。

公式ホームページ



X



Instagram



アストロテラス夜間一般公開  
の感想をぜひご記入ください。  
(所要時間1～2分程度)



かわさき  
田と緑の科学館  
Kawasaki Municipal Science Museum  
サイエンスプリン

### 【中秋の名月】

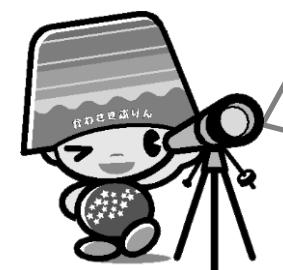
10月6日は、中秋の名月です。これは、太陰太陽暦(いわゆる旧暦)の、8月15日の十五夜お月さんです。

太陰太陽暦では、暦(こよみ)の上で、1月～3月が春、4月～6月が夏、7月～9月が秋、10月～12月が冬とされており、このため、8月15日は秋の真ん中にあたります。秋は、月がきれいに見え、平安時代から月を見る風習がありました。また、太陰太陽暦で15日という日付は、新月(朔)から数えて15日目になり、この日の月を十五夜と呼びます。このような背景で、秋の真ん中の十五夜お月様、に当たるこの日の月を、「中秋の名月」と呼ぶようになりました。この頃は、里芋の収穫の時期でもあることから、中秋の名月は、別名、芋名月(いもぬいげつ)とも呼ばれ、古くは、里芋などを供えしていました。

ところで、十五夜の月は、満月だと思われている方も多いかと思います。実際、いつも必ず満月になる、という訳ではありません。これは、月の満ち欠けの周期が29.5日と半端であることや、月の軌道が真円ではないことなどが理由です。今年の場合、満月になるのは、中秋の名月の翌日の10月7日です。

今年の中秋の名月では、近くに土星も見えています。明るさの差があるので、暗いところであれば見やすいかもしれません。

### ふりんのひとことメモ



今年は土星の「わ」がちょっと見えにくいんだ。

今はわっかをちょうど真横から見る位置だから、目立たなくなるんだよ。

土星のわっかは大きいけれど、とてもうすいからほとんど見えなくなるんだ。  
ふしぎな土星のわに注目してね！